

No	28									
指標名	急性心筋梗塞急性期PCI実施率									
定義	<p>(分子)分母のうち、入院2日以内に急性期PCIが施行された患者数 (分母)急性心筋梗塞の退院患者数</p> <p>※全国自治体病院協議会から配布される「経皮的冠動脈インターベンションエグゼリス」の手段を対象とする。</p>									
結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>当院 (%)</th> <th>全国中央値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2016年度</td> <td>87.7%</td> <td>82.6%</td> </tr> <tr> <td>2017年度</td> <td>86.1%</td> <td>83.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(当院)2016年度、2017年度における当院のデータ (全国)2016年度、2017年度に実施した病院の中央値 (2018/04/25 時点) ※他院との詳細な比較につきましては「全国自治体病院協議会 医療の質の評価・公表等推進事業」のページをご参照ください。</p>	年度	当院 (%)	全国中央値 (%)	2016年度	87.7%	82.6%	2017年度	86.1%	83.6%
年度	当院 (%)	全国中央値 (%)								
2016年度	87.7%	82.6%								
2017年度	86.1%	83.6%								
コメント (解説)	<p>当院ではできるだけ早い時期、可能な限り入院当日に冠動脈造影を行い、ステント治療か、バイパス治療か、あるいは内服治療かの方針を決めています。 このため早い時期にステント治療を行う結果となっており、結果として離床が早くなり、患者さんの在院日数の短縮につながっています。</p>									